

WTSA-08の結果について

平成21年3月18日

総務省 総合通信基盤局 番号企画室

2008年世界電気通信標準化総会 (WTSA-08) の概要

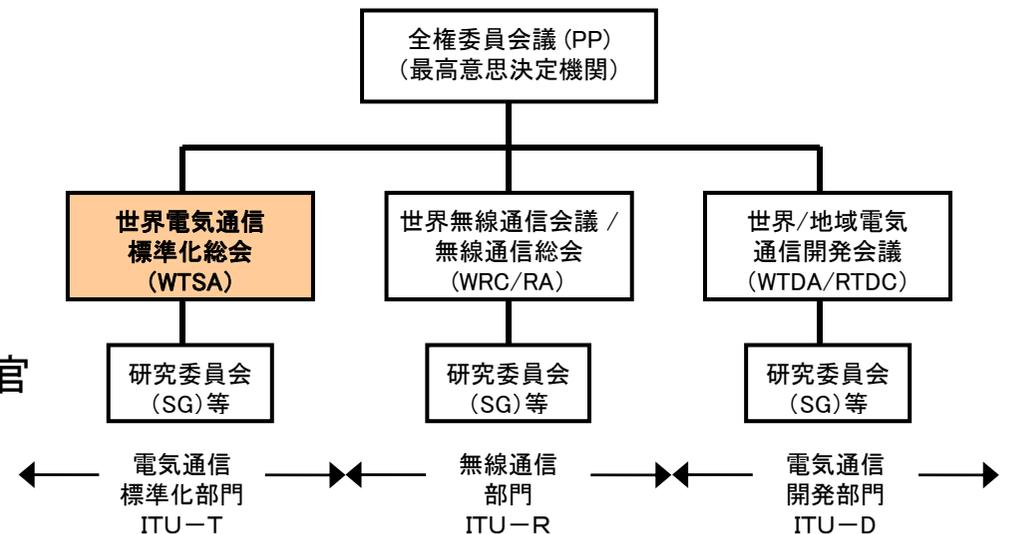
世界電気通信標準化総会 (WTSA: World Telecommunication Standardization Assembly)

: ITUでネットワーク分野の標準化を行う電気通信標準化部門 (ITU-T) の総会であり、4年に1回開催。

会期 平成20年10月21日 (火) ~ 30日 (木) (10日間)

場所 南アフリカ共和国 ヨハネスブルグ

出席者 99ヶ国及び12の国際機関等から約770名
日本からは総務省河内大臣官房総括審議官
以下38名が参加

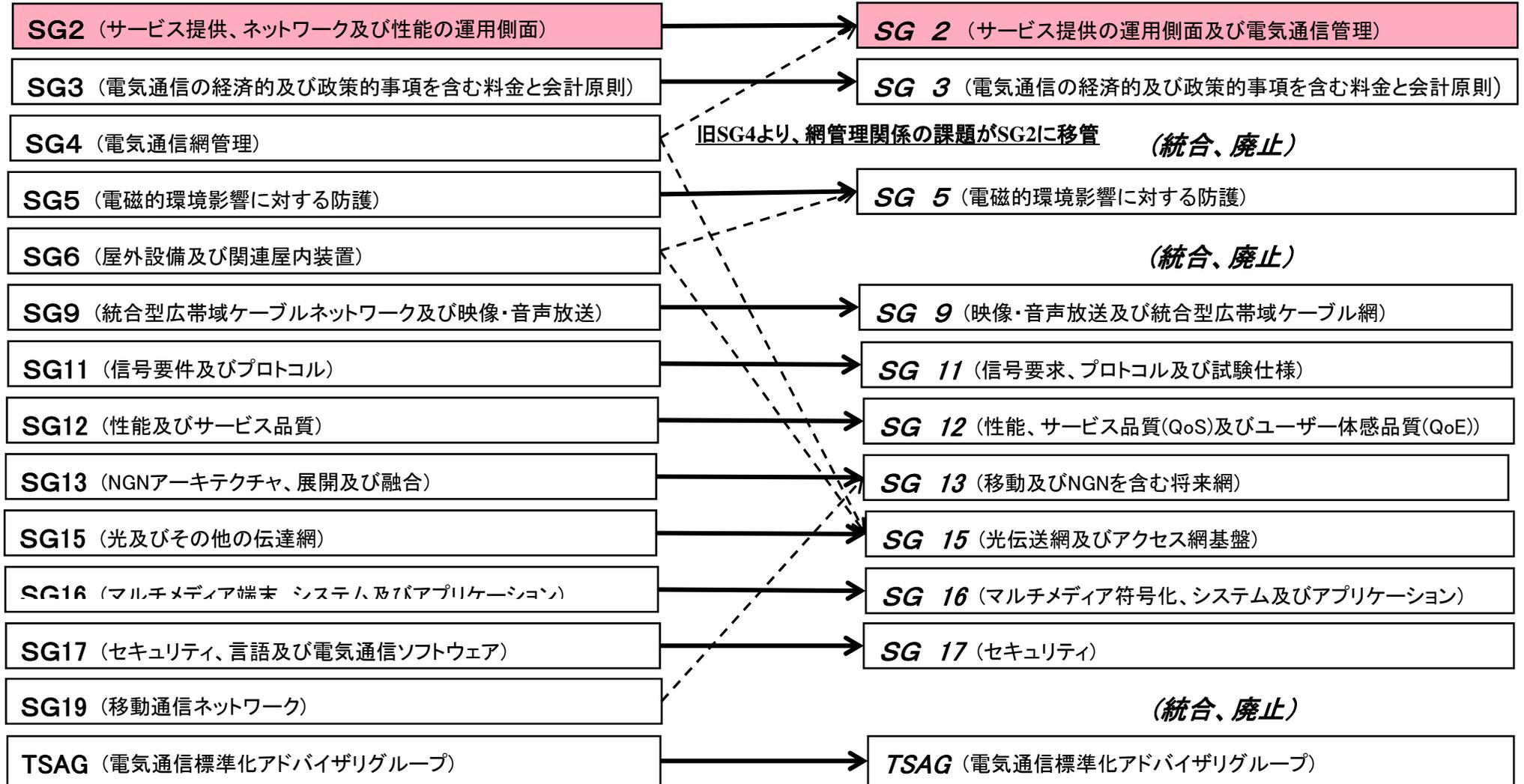


- 主な議題**
- ①次期研究会期における研究体制の決定 (SG構成の見直し)
 - ②SG議長・副議長の選出
 - ③SG会合から提出された勧告案・次期研究会期の研究課題の承認 等

新研究会期の研究体制 -SG再編の全体像-

旧SG体制(2005-2008年) <13SG+TSAG >

新SG体制(2009-2012年) <10SG+TSAG >

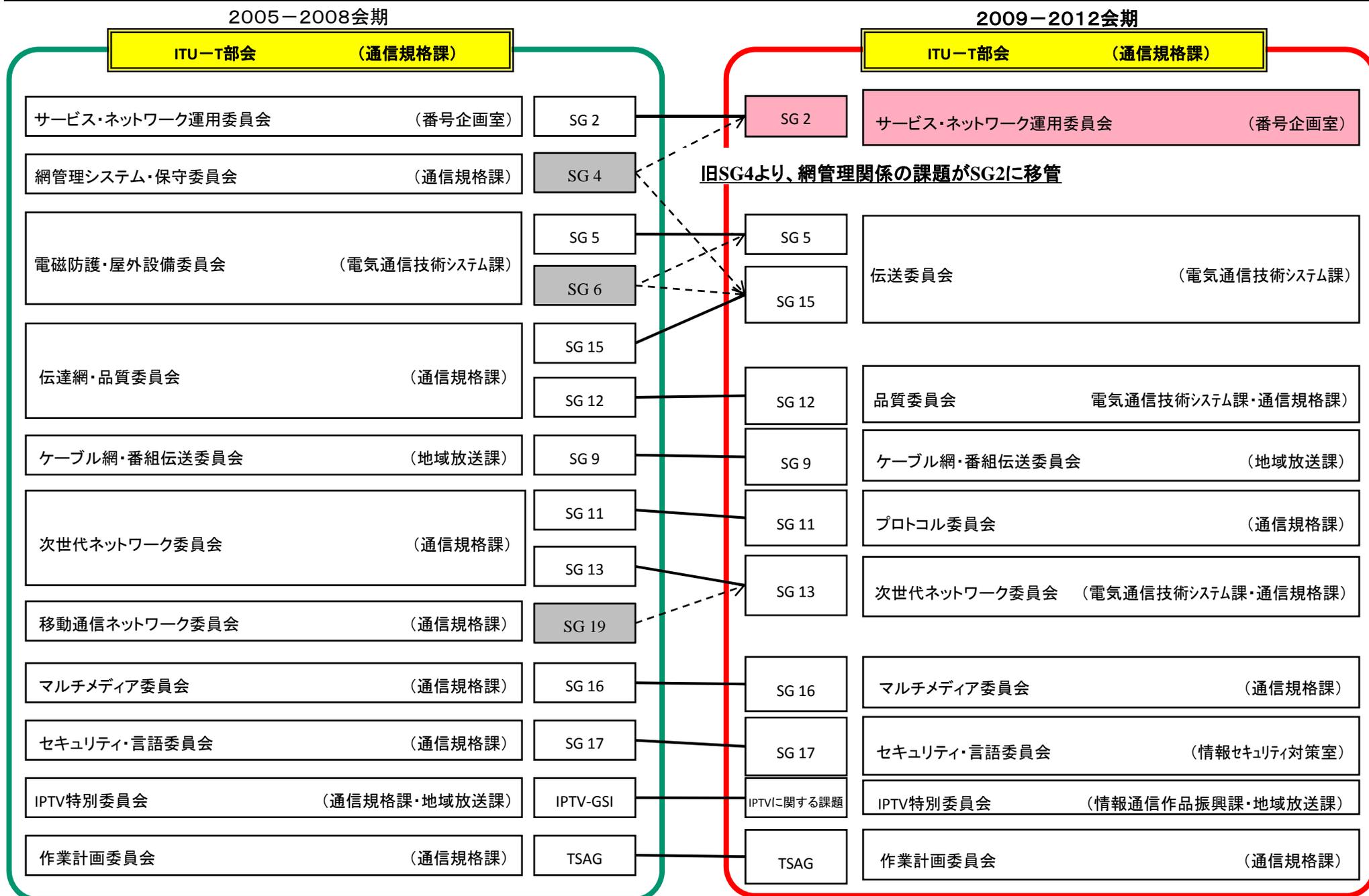


新研究会期の研究体制 -各SGの所掌-

SG	SG名	所掌範囲	主な担当分野
SG2	サービス提供の運用側面及び電気通信管理	サービス提供の原則・定義、ナンバリング、ネーミング、アドレッシング、リソース割当、ルーティング、ヒューマンファクター、通信網の運用及び管理、管理システムを経由した電気通信サービス、通信網及び設備管理、IdM識別子のフォーマット及び構成の整合性の確保等の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス定義、ナンバリング及びルーティング ・災害救済/早期警告のための電気通信 ・電気通信管理
SG3	電気通信の経済的及び政策的事項を含む料金と会計原則	国際電気通信サービスの料金及び会計原則、関連する電気通信の経済的・政策的事項に関する研究	—
SG5	電磁的環境影響に対する防護	干渉及び雷からの電気通信ネットワーク及び設備の防護に関する研究 既存メタル回線の屋外設備及び関連屋内設備の研究	—
SG9	映像・音声放送及び統合型広帯域ケーブル網	テレビジョン・音声番組の放送局間素材伝送、放送拠点への分配(一次分配)、視聴者端末への分配(二次分配)やインタラクティブ・サービス等の番組連携サービスのための電気通信システムの使用の研究 家庭へのテレビジョン・音声番組の配信のために主に設計されたケーブル及びハイブリッド網の統合広帯域ネットワークとしての使用の研究	統合型広帯域ケーブル及びテレビジョン網
SG11	信号要求、プロトコル及び試験仕様	IP通信網、NGN、モビリティ、いくつかの信号側面に関するマルチメディア、アドホックネットワーク、サービス品質等の信号要件及びプロトコルに関する研究 NGN及び新たな通信網のための信号アーキテクチャ及び試験仕様の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・信号及びプロトコル ・インテリジェント・ネットワーク
SG12	性能、サービス品質(QoS)及びユーザー体感品質(QoE)	端末、通信網及びサービスの全領域における性能、サービス品質(QoS)及び体感品質(QoE)の研究 エンド・トゥ・エンドのユーザー満足を確保するための相互接続性の研究	サービス品質及び体感品質
SG13	移動及びNGNを含む将来網	将来網に関する必要要件、アーキテクチャ、進化及び融合に関する研究(SGをまたがるNGNプロジェクト管理調整等を含む。) IMT、無線インターネット、FMC、相互接続性等の移動通信網のネットワーク側面に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・将来網及びNGN ・モビリティ管理及びFMC
SG15	光伝送網及びアクセス網基盤	光伝送ネットワーク、システム及び設備等に関する研究 伝送網に関係する設備、維持管理、試験、器具、測定技術に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス網伝送 ・光技術 ・光伝達網
SG16	マルチメディア符号化、システム及びアプリケーション)	ユビキタスアプリケーション、既存ネットワーク、NGNや将来ネットワークを含むサービス及びアプリケーションにおけるマルチメディア性能に関する研究(アクセスビリティ、マルチメディアアーキテクチャ、端末、端末プロトコル、信号処理、メディア符号化、ネットワーク信号処理設備等のシステムを含む。)	<ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディア符号化、システム及びアプリケーション ・ユビキタスアプリケーション (e-healthなどの'e-everything') ・障害者に対する電気通信/ICTアクセスビリティ
SG17	セキュリティ	サイバーセキュリティ、スパム対策、IDマネジメントを含むセキュリティに関する研究 技術言語及びその使用手法、その他電気通信システムのソフトウェア側面に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> ・電気通信セキュリティ ・IDマネジメント(IdM) ・言語及び記述技術

ITU-T部会所属委員会の再編

※1 SG3は情通審の委員会ではないため、本検討の対象外
 ※2 括弧内は担当事務局



2009－2012会期 SG2課題一覧

課題番号	課題名	概要	旧課題との関係
1	固定及び携帯電気通信サービスのためのナンバリング、ネーミング、アドレッシング及び識別子計画の適用	電気通信サービスのための固有番号・ネーム・アドレス及び識別性能の定義、利用、管理などに関する検討	旧課題1の一部
2	固定網及び携帯網のルーチング及び相互運用計画	サービス品質に関する情報を活用するルーチング手法、及び新たなルーチング手法等の検討	旧課題2
3	サービス定義を含む電気通信のサービス及び運用側面	IP網を利用した固定網及び移動体網におけるサービス品質の維持・向上、及びサービス定義に関する検討	旧課題1の一部
4	国際電気通信における生活品質向上のためのヒューマンファクター関連	電気通信サービスの利用を容易にするためのヒューマンインターフェースの検討	旧課題3
5	網及びサービス運用とメンテナンス手順	次世代網及びサービスの発展のための網及びサービスの運用手法の検討	旧課題5及び旧SG4の課題3の一部
6	電気通信管理活動関連の用語及び定義	電気通信網管理に関わる用語の勧告横断的な調整	旧SG4の課題1
7	B to B及びC to B管理インタフェースの要求条件	サービスレベルでオペレーションシステム相互接続のための要件定義とモデルの検討	旧SG4の課題2の一部及び課題7
8	管理フレームワーク及びアーキテクチャ	電気通信網管理のための機能アーキテクチャを新技術に対応できるものに発展させるための検討	旧SG4の課題6, 8
9	方法論及び一般的な必要条件(管理インタフェースのための分析とデザイン)	管理インタフェースを仕様化するための方法論と共通管理機能の要件定義、要件分析に基づくモデル化、及びモデルの詳細化	旧SG4の課題2の一部及び課題9
10	管理インタフェースの特定要求条件、分析及びデザイン	通信システム、サービスに特化した管理インタフェースを仕様化するために要件定義、要件分析に基づくモデル化、及びモデルの詳細化	旧SG4の課題10
11	管理プロトコル及びセキュリティ	管理プロトコルのプロファイルを拡張するとともに、管理のセキュリティに関する要件定義とモデルの検討	旧SG4の課題11
12	テレコム管理とOAMプロジェクト	ITU-T横断的に電気通信網管理に関わる研究状況を把握し、課題間の検討事項の格差と重複の調整	旧SG4の課題12
13	データ通信管理のためのサービスプロバイダ/ネットワーク運営要求条件とプライオリティ	電気通信網管理を実現するシステムの利用者であるサービスプロバイダ/ネットワークオペレータからの要件を抽出し、新たな勧告作成の研究計画の検討	新規課題
14	NGNテレコミュニケーションシステムとその構成部品の使用のための一般の測定技術と結果収集	次世代通信網(NGN)に新しく適用される測定技術と測定結果の評価方法について検討	新規課題

WTSA-08で新たに承認された決議 ～21件～(その1)

(参考)

決議番号 WTSA番号	決議タイトル	概要
決議 56 [C]	途上国からのTSAG及びSG副議長の役割 (Roles of TSAG and ITU-T study group vice-chairmen from developing countries)	先進国と途上国間の標準化格差是正のため、TSAG及びITU-TのSG副議長に、副議長が所属する地域からITUの標準化活動への参加を促すように指示。ITU地域事務所に対しては、予算内で副議長を支援するように指示、TSB局長にはBDT局長との連携を指示
決議 57 [E]	ITU-R,ITU-T及びITU-Dにおける相互関係事項に関する調整及び協力の強化 (Strengthening coordination and cooperation among ITU-R, ITU-T and ITU-D on matters of mutual interest)	ITU-R、ITU-T及びITU-Dの3つの部門に互いに関係のある問題に関し、RAG、TSAG及びTDAGにこれらの問題の整理をし、互いに協力・協調できるような仕組みの強化を指示
決議 58 [L]	特に途上国におけるコンピュータセキュリティ上の脅威に対する国家組織としてのチームの創設の促進 (Encourage the creation of national Computer Incident Response Teams, particularly for developing countries)	CIRTが必要とされているが現時点でCIRTのない国においてCIRTを創設することを支援するため、TSB局長に対して、CIRT創設に必要な事項についてTDB局長と連携するよう指示
決議 59 [N]	途上国からの電気通信オペレータの参加の促進 (Enhancing participation of telecommunication operators from developing countries)	途上国にある子会社もITU-Tの標準化活動に参加するように、TSB局長に対して、先進国にある親会社（セクター・メンバー）を促すように指示。また、途上国の電気通信事業者が標準化活動に参加できるような仕組み作りについても指示
決議 60 [R]	番号付与システムの進化及びそれらのIPベースシステム/ネットワークとの融合の課題を受けて (Responding to the challenges of the evolution of the numbering system and its convergence with IP-based systems / networks)	IPベースのネットワークの普及やNGNへの移行に関し、ITU-T SG2に対して、電気通信識別/番号資源の構造及び保守に必要な事項について関連するSGと連携して研究すること等を指示し、関連SGに対しては、各SGの研究が番号システムに与える影響の調査等において、SG2をサポートするよう指示
決議 61 [S]	国際電気通信番号資源の不正利用 (Misappropriation of international telecommunication numbering resources)	不正があった際に、国内規制機関が通信事業者に対してルーティング情報を公開するように要請できる仕組み作りを検討することを指示
決議 62 [U]	紛争解決 (Dispute settlement)	国際接続に関する紛争処理問題の解決方法に関し、ITU-T SG3に対して迅速な検討を指示し、各メンバーに対して、本件に関してITU-T勧告を遂行することや更なる検討を行うことを指示

WTSA-08で新たに承認された決議 ～21件～(その2)

(参考)

決議 63 [BB]	ノーマディックな電気通信サービス及びアプリケーションに関する研究 (Studies regarding nomadic telecommunication services and applications)	TSAGに対して、関係するSG間でノーマディックなサービスに関する研究の連携を強化するため、本サービスに関する研究を重要かつ緊急の案件として研究することを指示し、関連するSGにノーマディックなサービスを行うために必要な研究を行うことを指示
決議 64 [CC]	IPアドレス割当及びIPv6の展開の促進 (IP address allocation and encouraging the deployment of IPv6)	SG2及びSG3にIPアドレスの割当てと経済的側面を検討することを指示し、TSB局長に対して、TDB局長と協調してIPv6に関する各地域の要望に応えるための対応を指示
決議 65 [DD]	発番号の伝達方式 (Calling party number delivery)	技術的能力や国内法規に合わせて、関連するITU-T勧告に基づき発呼者番号を与え、発信された国が分かるように、国番号に発信者番号を付けること等を指示
決議 66 [GG]	TSBにおける技術的観察機能の創設 (The creation of a Technology Watch Function in the Telecommunication Standardization Bureau)	TSB局長に対して、技術的観察機能(TWF)をTSB内で正式なものとして形作り、TWFの分析結果等をTSAGやワークショップ等、関係するところに速やかに情報提供し、主な結果を発表するように指示
決議 67 [II]	用語のための標準化委員会 (SCV) の創設 (Creation of a Standardization Committee for Vocabulary (SCV))	ITU-Tで使われる用語は、英語でなされた各SGからの提案に基づき、残り5つの公用語への訳と併せて検討すること等を指示
決議 68 [JJ]	WTSAの進化しつつある役割における決議122の実施 (The implementation of Resolution 122 (Rev. Antalya, 2006) on the evolving role of the World Telecommunication Standardization Assembly)	途上国はITU-T以外の標準化会合に参加することが困難であることを踏まえ、TSB局長に対して、フォーラムやコンソーシアムの数が最小限となるように、標準化の優先度や課題の整理・調整のための産業界の幹部を集めたハイレベル会合を開催し、事前にアンケートを行って、途上国の要望を会合に提出すること等を指示
決議 69 [KK]	無差別的アクセス及びインターネット資源の使用 (Non discriminatory access and use of Internet resources)	他の加盟国が公衆インターネットにアクセスすることを一方的かつ(又は)無差別に邪魔するような行為を控え、そのような事が起きた場合には、TSB局長へ報告することを指示。また、TSB局長に対して、加盟国からの報告を取りまとめ、分析し、加盟国に報告することを指示
決議 70 [MM]	障害者に対する電気通信/ICT アクセスビリティ (Telecommunication/ICT accessibility for persons with disabilities)	SG2、SG16及びアクセサビリティ及びヒューマン・ファクターに関する研究課題に関するものについては、優先的に研究に取り組むこと等を指示

WTSA-08で新たに承認された決議 ～21件～(その3)

(参考)

<p>決議 71 [NN]</p>	<p>アカデミア、大学及びそれらの関連研究機関のITU-T活動への参加の許可 (Admission of academia, universities and their associated research establishments to participate in the work of ITU-T)</p>	<p>TSB局長に対して、ボランティア・ベースの財政支援や現物支給等を活用し、ITU-Tとアカデミア、大学及びそれらの関連研究機関の連携を強化するため仕組み作りを指示。また、アカデミア等がセクター／メンバー又はアソシエイトとして少ない分担金でITU-Tの活動を行えるように、ITU理事会での検討を要請するよう指示</p>
<p>決議 72 [EMF]</p>	<p>電磁的環境における人体暴露に関する測定 (Measurement concerns related to human exposure to electromagnetic fields)</p>	<p>ITU-T（特にSG5）に対し電磁的環境における人体暴露に関して活動を広げ、加速させることを指示</p>
<p>決議 73 [ICT&CC]</p>	<p>ICTs及び気候変動 (Information and communications technologies and climate change)</p>	<p>現在行われているFGでの検討終了後TSAGにおいてITU-Tにおける今後の検討体制を決定すること及びITU-Tメンバー以外の専門家の意見を取り入れる仕組みを作ること等を指示</p>
<p>決議 74 [F&Y]</p>	<p>ITU-T活動における途上国からのセクターメンバーの参加 (Admission of Sector Members from developing countries in the work of ITU-T)</p>	<p>途上国参加者の財政的負担がITU-DにおけるSG参加の財政的負担と等しくなるよう考慮し、途上国から新たな参加者がITU-Tへ参加可能とする必要な手段の採用を促進することを指示</p>
<p>決議 75 [WSIS]</p>	<p>WSISの結果の実施におけるITU-Tの寄与、WSISの理事会作業グループの一部としてインターネット関連の公共政策課題に関する専門グループの設立 (ITU-T's contribution in implementing the outcomes of the World Summit on the Information Society, and the establishment of a Dedicated Group on Internet-related Public Policy Issues as an integral part of the Council Working Group on World Summit on the Information Society)</p>	<p>ITU-Tの所掌の範囲内で、引き続きWSISの実施に関する対応をし、そのフォロー・アップをすることを指示。また、理事会に対して、国際インターネットに関する課題の研究を行い、その結果を広めるために、セクター・メンバーのみに開放された国際インターネットに関する公共政策課題に関する専門グループを設立することを要請するよう指示し、ITU事務総局長に対して、このグループが効果的に機能するように、ITUの予算を割当て、必要なサポートを行うように要請することを指示</p>
<p>決議 76 [I&I Testing]</p>	<p>適合性及び相互接続性試験、途上国支援、ITUマークプログラムの将来的な実現に関する検討 (Studies related to conformance and interoperability testing, assistance to developing countries, and a possible future ITU mark programme)</p>	<p>ITUマーク制度（ITU-T勧告に準拠する機器に対する基準認証及び相互接続性試験を行うもの）の導入に向けての決議。相互接続性を扱うITU-T勧告を可能な限り早急に作成すること、TSB局長に対して制度導入にあたってITU及び製造業者に対する全体的な影響や各国の法律並びに国内及び国際規格との整合性について検討を行い検討結果を2009年の理事会へ報告することを指示</p>

WTSA-08で改訂された決議 ～27件～(その1)

(参考)

決議 1	電気通信標準化部門 (ITU-T) の手続き規則 (Rules of procedure of the ITU Telecommunication Standardization Sector (ITU-T))
決議 2	研究委員会の責任及び担務 (Study Group responsibility and mandates)
決議 7	国際標準化機構 (ISO) 及び国際電気標準会議 (IEC) との協調 (Collaboration with the International Organization for Standardization (ISO) and the International Electrotechnical Commission (IEC))
決議 11	郵便及び電気通信の両分野に関係する業務の研究についての万国郵便連合 (UPU) の郵便業務理事会 (POC) との協調について (Collaboration with the Postal Operations Council (POC) of the Universal Postal Union (UPU) in the study of services concerning both the postal and the telecommunication sectors)
決議 17	途上国の利益に関する電気通信標準化 (Telecommunication standardization in relation to the interests of developing countries)
決議 20	国際的な番号資源の割当てと管理のための手続き (Procedures for allocation and management of international numbering resources)
決議 22	WTSA間のTSAGへの権限付与 (Authorization for TSAG to act between WTSA's)
決議 26	地域料金グループへの支援 (Assistance to the Regional Tariff Groups)
決議 29	国際電気通信網における代替通話手段 (Alternative calling procedures on international telecommunication networks)
決議 31	ITU-T作業への団体又は機関のアソシエートとしての参加の許可 (Admission of entities or organizations to participate as Associates in the work of ITU-T)
決議 32	ITU-T作業における電子的作業方法の強化 (Strengthening electronic working methods for the work of ITU-T)
決議 33	ITU-T戦略活動ガイドライン (Guidelines for ITU-T strategic activities)
決議 34	任意拠出金 (Voluntary contributions)

WTSA-08で改訂された決議 ～27件～(その2)

(参考)

決議 35	ITU-T研究委員会及び電気通信標準化アドバイザリーグループ(TSAG)の議長及び副議長の任命及び最大任期 (Appointment and maximum term of office for chairmen and vice-chairmen of ITU-T Study Groups and of the Telecommunication Standardization Advisory Group (TSAG))
決議 38	IMT-2000活動のためのITU-T、ITU-R及びITU-Dの間の調整 (Coordination among ITU-T, ITU-R and ITU-D for IMT-2000 activities)
決議 40	ITU-T作業の規制的側面(Regulatory aspects of ITU-T work)
決議 43	WTSAに向けた地域準備プロセス (Regional preparations for world telecommunication standardization assemblies)
決議 44	先進国と途上国間の標準化格差の縮減 (Bridging the standardization gap between developing and developed countries)
決議 45	ITU-TのSGをまたがる標準化活動の効果的な調整とTSAGの役割 (Effective coordination of standardization work across study groups in ITU-T and the role of TSAG)
決議 47	国番号トップレベルドメインネーム (Country Code Top Level Domain Names)
決議 48	国際化ドメインネーム (Internationalized domain names)
決議 49	ENUM
決議 50	サイバーセキュリティ (Cybersecurity)
決議 52	技術的手段によるスパム対策 (Countering SPAM by technical means)
決議 53	セミナー・ワークショップの調整委員会の設置 (Establishment of a seminar and workshop coordination committee)
決議 54	地域グループの創設 (Creation of regional groups)
決議 55	ITU-T活動におけるジェンダー・メインストリーミング (Mainstreaming gender in ITU-T activities)